

緑と花づくりの普及・啓発事業

1 市の木「ハナミズキ」、市の花「キョウチクトウ」、市の草花「ペゴニア」

市の花「キョウチクトウ」（昭和27年4月8日制定）に加え、緑化活動のシンボルとして、また、尼崎市の新しいイメージづくりにと、市の木に「ハナミズキ」を、市の草花に「ペゴニア」を、平成5年1月18日に制定しました。

公園緑地、道路等公共施設への「ハナミズキ」の植栽状況

年度	本数	年度	本数
平成6年度	79	15	0
7	74	16	21
8	122	17	7
9	112	18	3
10	75	19	2
11	55	20	5
12	40	21	1
13	111	22	6
14	44	合計	757

各種イベントや講習会などで「市の木」「市の花」「市の草花」をアピールすることにより、あるいは市民・事業者が行う開発事業による緑化などにそれらを植樹してもらうことにより、民有地においても都市緑化の普及事業推進の一つとして活用しています。

2 尼崎市緑化基金

市制70周年を記念し、昭和61年4月1日に緑の保全と緑化を図る事業を推進するため尼崎市緑化基金を創設しました。これは市と市民と事業者が一体となって、その利息で緑化事業を推進していかうとする制度です。

緑化基金募金箱の募金や、市民及び事業者等から緑化推進のために寄付された寄付金を緑化基金として積み立て、それによって生じる利息相当額を補助金として交付を受けた財団法人尼崎緑化協会が緑化事業を実施・推進しています。

主な実施事業は、「生垣等助成」などの民有地の緑化推進事業、「春の花と緑のフェスティバル」ほかの緑化普及啓発事業などです。

なお、平成22年度の積立額は2,119,000円で、平成23年3月末現在で緑化基金積み立て総額は、600,168,000円となっています。